

晩秋の候、地域の先生方にはますますご清栄のことと存じます。

今月号は、新たに就任した消化器内科主任部長からのご挨拶と、NAFLD/NASHの治療についてご紹介させていただきます。お手すきの際にお読みいただければ幸いです。

NAFLD/NASHについて



消化器内科(肝胆)主任部長
石田 永

9月から消化器内科（肝胆）主任部長を拝命いたしました石田です。1992年に大阪大学を卒業して、大阪大学大学院で研究・診療に従事した後、大阪医療センターで11年間診療を行ってまいりました。専門は肝臓病で、ウイルス性肝炎や肝細胞がんの診断や治療です。特に肝細胞がんに対する治療としては、近年多数の抗がん剤が使用できるようになりました。手術や動脈塞栓術、ラジオ波焼灼術などを組み合わせ、個々の患者さまに応じた最適の治療をさせていただきます。

地域医療に貢献できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

近年の薬物の進歩により徐々にウイルス性肝炎が征圧されつつある中で、次に問題となってきているのが非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）です。NAFLDの中でも肝細胞破壊が経時的に進行し、線維化が進展していく病態を、非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）といいます。

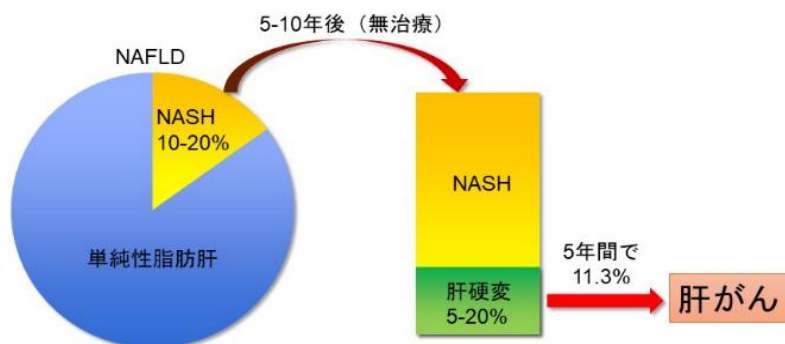
NAFLDの原因の多くは肥満です。我が国ではNAFLDは1,000万人以上いるといわれており、年々増加傾向にあります。NAFLDのうち、病期が進行していくNASHは10-20%で、無治療のまま放置すると5-20%は肝硬変に進行していきます。そして、肝硬変になると5年で10%強は肝がんができるかとされています。以前はウイルス性肝炎が肝がんの主たる原因でしたが、現在はNASHが最も多い原因となっているのです。

脂肪肝の診断は主に超音波検査で行います。その上でNASHかどうかの正確な診断には肝生検が必要なのですが、患者さまの負担や偶発症リスクを考慮して、施行する症例は減ってきています。NASHであった場合、徐々に肝線維化が進行するので、血液検査（FIB-4index、M2BPGi）で線維

化を評価したり、超音波やMRIで肝硬度を測定したりして、病期を評価することができるようになりました。肝の線維化は、進行しているほど将来の肝がんのリスクが高いと言えます。

NAFLD/NASHの治療は、現在保険適用となっている薬剤はありません。ダイエットが最も有効な治療法です。運動療法と食事療法をうまく駆使して体重を減らすことで、肝臓にたまった脂肪を減らすことができます。肝機能異常の患者さまがおられましたら、お気軽にご相談いただくと幸いです。

脂肪肝の経過 ～NASHは肝硬変・肝がんへ進行しうる～



NASHの推定患者は200万人、NASH予備軍は1000万人以上ともいわれている。

NASHは、治療しないと5-10年後に5-20%で肝硬変に進行。
肝硬変からの肝がんは5年累積発癌率11.3%。



当院は地域医療の拠点病院として、今後も地域医療に貢献していく所存です。何卒宜しくお願いいたします。

手術看護認定看護師の活動



手術看護認定看護師
脇本 英昭

当院に手術支援ロボット「ダビンチ」が導入され、徐々に手術件数も増えてきている中、その特殊な手術における看護をご紹介させていただきます。

ロボット手術は、人の目に比べて広い視野を3Dで見ることができ、遠隔操作によって狭い空間で精密な作業を行うことができる腹腔鏡手術となります。鉗子の先は指のように細かな動作が行えるため、縫合などは従来の手術に比べて非常にやりやすくなっているのが特徴です。

ロボット手術体位による弊害

高度頭低位および気腹によるもの

- ・頭蓋内圧の上昇
- ・眼圧の上昇
- ・脳灌流の低下
- ・胸腔及び気道内圧の上昇

高度頭低位と過剰輸液によるもの

- ・上気道浮腫が生じる可能性

看護上の問題点

- 上肢の観察が困難となる
- 気腹時間が長くなる
- ロボットアームによる顔・体への圧迫

手術看護の対策

- 手術室でロック式末梢ルート確保
- ETCO2・術野での皮下気腫の観察
- 体圧分散用具による保護
- 1時間以内の観察を徹底
- コンパートメント症候群予防・早期発見のため足背動脈の観察、下腿の除圧



頭低位26度（実際の体位）

ロボット手術は、医師の操作だけではなく看護師を含めたチームで行います。そのため、チームで教育に取り組んでいます。他施設での安全な方法等も参考にし、様々な観察を強化することで合併症を起こすことなく安全に手術を実施しています。

歯科衛生士の活動

抜歯のあとに装着する「保護床」について

歯科・歯科口腔外科では埋伏智歯（親知らず）の抜歯などさまざまな口腔外科手術を行っています。

抜歯後の出血や治癒不全が見込まれる全身的な疾患をお持ちの患者さまのため、あらかじめ型取りをした模型から術後の保護床を製作することができます。

「型取りが苦手・・・」という患者さまもいらっしゃいますが、歯科衛生士がスムーズに型取りを行い、ぴったりと合う保護床を製作できるよう歯科口腔外科医療をサポートしています。



今月の一品

餃子の皮 de りんごパイ

【作り方】

- ① りんごを1cm角に切る。
- ② 耐熱皿に①を入れ、はちみつ、砂糖を加えて、ゆるくラップをかけて電子レンジ(600W)で3分加熱する。
- ③ 水分を切ってシナモンをふり、粗熱をとる。
- ④ 餃子の皮に③をのせ、縁に水をつけ包む。
- ⑤ フライパンにバターを溶かし④を並べて、両面が色づくまで焼く。



材料	
餃子の皮	10枚
りんご	1/2個
はちみつ	大さじ1
砂糖	大さじ1
シナモン	適量
バター	10g

りんごは冷蔵庫または温度差のない涼しい冷暗所で保存しましょう！

